

臨床宗教師は心のケアに関わる専門職として地域の支援者の輪に加わります。

被災地で

仮設住宅の自治会や民生委員、保健師、社会福祉士といった方々と



連携し、地域の宗教文化の特性をいかながら傾聴活動を行ないます。地域の宗教者とも連絡をとりながら、身内を亡くされた方などへの宗教的ケアが適切に行き届くようにします。

病院で

病気や死の不安を抱える患者さんやご家族の言葉に耳を傾け、適切な看取りの環境作りを助けます。また患者さんを支える看護スタッフのストレス軽減にも貢献します。

福祉施設・在宅ケアで

日本は超高齢化社会を迎え、施設に暮らすお年寄りも増えています。施設で、在宅で、充実した日々を生きられるようにお手伝いし、気になるお葬式やお墓についての相談にも応じることができます。



戦後の日本では、宗教や死生観について語り、この暗闇に降りていく道しるべを示すことのできる専門家が死の現場からいなくなっていました。人が死に向かい合う現場に医療者とチームを組んで入れる、日本人の宗教性にふさわしい日本型チャプレンのような宗教者が必要であると考えてきました。 医師・岡部健(1950-2012)



各種お問い合わせは
下記までよろしくお願い申し上げます。

北海道東北臨床宗教師会
ht.rinshushikai@gmail.com (事務局)

関東臨床宗教師会
kanto.rinsyo.syukyoshi@gmail.com (事務局)

中部臨床宗教師会
tanaka.amitabha@gmail.com (田中至道)

関西臨床宗教師会
shimidzu_masahiko@yahoo.co.jp (清水正彦)

中国地方臨床宗教師会
bluefrog@gmail.com (柗野統胤)

九州臨床宗教師会
k.rinsyu@gmail.com (事務局)

日本臨床宗教師会
sicj@g-mail.tohoku-university.jp (事務局)

東北大学実践宗教学寄附講座のホームページでは
臨床宗教師についての情報を提供しています。



東北大学実践宗教学寄附講座

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
022-795-3831(T/F)
E-mail: j-shukyo@g-mail.tohoku-university.jp
HP: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/>



臨床宗教師とは



お坊さん、牧師さん、神主さんとお話してみませんか？

「臨床宗教師」は、被災地や医療機関、福祉施設などの公共空間で心のケアを提供する宗教者です。「臨床宗教師」という言葉は、欧米のチャプレンに対応する日本語として考えられました。

布教や伝道を行うのではなく、相手の価値観を尊重しながら、宗教者としての経験をいかして、苦悩や悲嘆を抱える方々に寄り添います。仏教、キリスト教、神道など、さまざまな信仰を持つ宗教者が協力しています。

2011年の東日本大震災を機に、東北大学で養成がはじまり、龍谷大学、鶴見大学、高野山大学、武蔵野大学、種智院大学等の大学機関もこれに取り組んでいます。



臨床宗教師の研修では こんなことを学んでいます。

宗派・宗教を超えた宗教者が集い、対話を通して、心のケアを学びます。

① 「傾聴」「スピリチュアルケア」の能力向上

被災地や医療施設でまず必要なのは、教え導くことではなく、相手の気持ちに寄り添って耳を傾けることです。ロールプレイなどのグループワークを通して傾聴のスキルを身につけます。お一人お一人が大切にしている価値観や信仰心を支え、それに気づき、表現することを助けるのがスピリチュアルケアです。

② 「宗教間対話」「宗教協力」の能力向上

公共空間では宗教の異なる人や信仰を持たない人との対話が前提となります。他(多)宗教の信仰者と触れ合い、儀礼に学ぶことで自分の信仰を自覚し、深めることにもつながります。宗教協力は、布教を目的とせず人々と接することを学ぶ第一歩です。研修受講者が持ち回りで担当する「日常儀礼」、宗派宗教の枠を超えて行なう「追悼巡礼」は自身の信仰を確かめるためにも貴重な体験となります。

③ 宗教者以外の諸機関との連携方法

病院などの公共施設は宗教者のホームグラウンドではありません。アウェイの場所では、適切な手続きを踏まえてTPOに応じた振る舞いが必要です。公的施設の運営者や異業種の専門家との連携から学び、仮設住宅やホスピス、ビハラー病棟などで実習を行ないます。

④ 適切な「宗教的ケア」の方法

さまざまな支援者がいる中で、宗教者ならではのメリットとはなんでしょうか。読経・祈り・お祓いなどの行為や、数珠・ロザリオ・お守り・お札・お地藏さんなどの物品など、それぞれの宗教は心のケアに役立つ工夫や知恵を持っています。これらを相手のニーズにあわせて、公共の場にふさわしい方法で提供することを学びます。



臨床宗教師研修プログラム例(長期型、被災地+看取り): 講義、グループワーク、傾聴実習、他……全体で約三ヶ月のプログラムです。

全体会1(合宿)			実習期間1	全体会2(合宿)			実習期間2	全体会3(合宿)		
7:00 一日目	二日目	三日目	各地に分散して、12時間以上の実習 実習記録／会話記録作成を行います。	7:00 一日目	二日目	各地に分散して、12時間以上の実習 実習記録／会話記録作成を行います。	7:00 一日目	二日目		
8:00 朝食	日常儀礼 G	朝食		8:00 朝食	日常儀礼 G		8:00 朝食	日常儀礼 G		
9:00 傾聴 G	地域と文化 L	社会実装 L		9:00 追悼巡礼 F	追悼巡礼 F		9:00 追悼巡礼 F	追悼巡礼 F		
10:00 集合930石巻駅前 オリエンテーション	屋敷移動	実習先説明		10:00 集合930南仙台駅前 日常儀礼 G	公共性 L		10:00 集合930南仙台駅前 日常儀礼 G	宗教間対話 L		
11:00 自己紹介・参加動機	理念 L	移動		11:00 実習振り返り G	実習振り返り G		11:00 実習振り返り G	清掃		
12:00 屋敷休憩	カフェデモンク	屋敷・清掃		12:00 屋敷休憩	屋敷・清掃		12:00 屋敷休憩	東北大へ(文学部2F大会議室)		
13:00 倫理 L	追悼巡礼 F	石巻市内仮設住宅 ※2		13:00 実習振り返り G	会話記録 G		13:00 実習振り返り G	昼食		
14:00 追悼巡礼 F	石巻市浜地区	スピリチュアルケア L		14:00 精神保健 L	宗教的ケア L		14:00 放射能 L	実践宗教学		
15:00 入浴	入浴	研修振り返り G		15:00 グリーフケア L	研修振り返り G		15:00 実習振り返り G	研修振り返り G		
16:00 夕食	夕食	解散		16:00 夕食	解散		16:00 入浴	修了式		
17:00 休憩	実習振り返り G	日常儀礼 G		17:00 入浴	解散		17:00 入浴	解散		
18:00 カフェデモンク L	会話記録の作成法	在宅緩和ケア L		18:00 夕食	民間信仰論 L		18:00 休憩	人権擁護 L		
19:00 死の経験 G	日常儀礼 G	日常儀礼 G		19:00 民間信仰論 L	日常儀礼 G		19:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G		
20:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G	日常儀礼 G		20:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G		20:00 夕食・懇親会	夕食・懇親会		
21:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G	日常儀礼 G		21:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G		21:00 日常儀礼 G	日常儀礼 G		

L:講義
F:実習
G:グループワーク

修了後は各地の臨床宗教師会に所属し、継続的なフォローアップ研修に参加して研鑽を続けます。



主な実習先

- 岡部医院 (宮城県名取市)
- ふくしま在宅緩和ケアクリニック (福島市)
- ※東北大学
- 光ヶ丘スベルマン病院ホスピス病棟 (仙台市)
- 2015年度の例
- ホームホスピスにじいるのいえ (仙台市)
- 佼成病院ビハラー病棟 (東京都杉並区)
- 上尾中央総合病院緩和ケア病棟 (埼玉県上尾市)
- 長岡西病院ビハラー病棟 (新潟県長岡市)

- ささえ愛よろずクリニック (新潟市)
- 小笠原内科 (岐阜市)
- 沼口医院 (岐阜県大垣市)
- 松阪市民病院緩和ケア病棟 (三重県松阪市)
- 西栄寺お寺の介護はいにこぼん (大阪市)
- 特別養護老人ホームひかりの園 (熊本県上天草市)
- 傾聴移動喫茶カフェ・デ・モンク (宮城県内)
- 仮設住宅訪問 (福島県内)

講義科目例

臨床宗教師の倫理	宗教間対話	民間信仰論	在宅緩和ケア	精神保健と医療
スピリチュアルケア	宗教的ケア	グリーフケア	放射能の影響	地域と文化
臨床宗教師の社会実装	公共性の確保	会話記録の作成方法	人権擁護	実践宗教学



